

光沢を明確に数値化する ハンディタイプ 光沢計。

簡単操作で、幅広い分野での品質管理や空間の美化維持に真価を発揮します。

測定角60°/20°切り替えが可能。
作業効率を高めるセパレートタイプ。

測定部が本体表示部から分離しているので、
場所を選ぶことなく高い作業効率と安全性を提供します。



IG-331 TA415GD

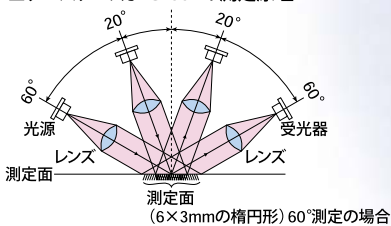
校正はワンタッチで可能。

本体の校正キーを押すだけで、ゼロ・スパン校正を
順次自動で実行します。

測定角60°/20°切り替え方式。

一般的に広く利用されている測定角60°と、
測定角60°で光沢度が70を超える表面の
測定に適した、測定角20°の切り替えが可能。
光沢度の高い対象物も
測定することができます。

■グロスチェッカ IG-331の測定原理

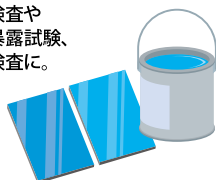


CE marking compliant

あらゆるシーンで活躍します

●塗料・インキの品質管理に

品質検査や
屋外暴露試験、
光沢検査に。



●塗装面の検査や診断に

車両、船舶、航空機、橋梁、鉄骨、鉄塔、
屋外広告物などの塗装面外観や、洗浄、
ワックス塗布の検査に。また劣化診断などに。



●印刷物関係のチェックに

ニス塗布工程の美粧特性評価
(ラミネート加工、エンドレス加工など)。
乾燥工程後の表面の
経時変化・均一性評価。
用紙表面のチェックなどに。



人間の目の識別力はあいまいです。とくに光沢については、
 識別はもちろん記憶や伝達表現もほとんど無力に等しく、あいまいな認識を生むとともに、
 商品の生産や販売の場でトラブルの原因につながってしまいかねません。

光沢に対するあいまいな認識を解消し、客観的なデータを基にした評価を可能にします。
 しかもハンディタイプでウォーミングアップ不要の簡単操作だから、
 いつでもどこでも測定部をあてるだけで、光沢を簡単にチェック。
 塗装や研磨などの作業を伴う品質管理や、フロアメンテナンスなどあらゆるシーンで大きな力となります。

データメモリとアベレージ計算がワンタッチ。 高精度測定を追求した一体形タイプ。

片手で楽に持てる軽量コンパクト設計。もちろん簡単操作。
 生産ラインや社外などどこへでも手軽に携帯が可能です。

IG-320 TA415GA



±0.5%F.S.の高精度測定。

測定原理は、周囲の明るさや色の影響を受けにくい
 近赤外線パルス方式とHORIBA独自の原理により、
 高精度な測定機能を実現。
 JISとの相関も良好で安定した高精度測定が可能です。

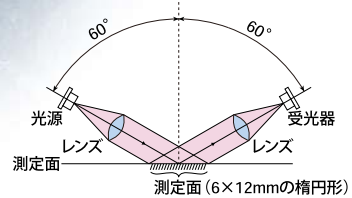
データメモリと平均値演算を ワンタッチ。

データメモリは99個 (MAX) までワンタッチで入力可能。
 また入力データの平均値演算 (AVERAGE) も
 ワンタッチ表示でき、
 平均値のメモリも99個 (MAX) まで可能。
 データ管理を容易に行うことができ、
 スムーズな測定作業をサポートします。



以上の繰り返しにより、平均値は99個 (AVERAGE No.99) までメモリできます。

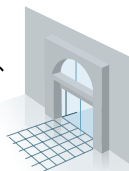
■グロスチェッカ IG-320の測定原理



●プラスチック成形物の
 外観検査に
 樹脂成形品の外観検査や
 耐候性試験の評価に。



●建築材料や石材などの仕上げの検査に
 ホーロー、サッシ、床材、石材、
 タイル、家具などの
 製造工程における外観チェック、
 完成品検査、
 現場仕上げチェックに。



●フロアメンテナンスに
 ホテルやオフィスビル、商店などの
 フロアワックス塗布の検査に。



●その他
 フィルム、テープ、ゴム、皮革などの
 品質検査や外観チェックに。



TA415GD



TA415GA

■グロスチェッカ
IGシリーズ
仕様

光学系	60°測定:入射角60°-受光角60° 20°測定:入射角20°-受光角20°	入射角60°-受光角60°
測定面積	60°測定:3×6mmの楕円 20°測定:3×4mmの楕円	12×6mmの楕円
光源	LED(波長890nm)	LED(波長880nm)
光源寿命	半永久的	半永久的
受光部	SPD(シリコンフォトダイオード)	SPD(シリコンフォトダイオード)
測定範囲	0~100	0~100.0
表示範囲	0~199(分解能1)	0~199.0(分解能0.1)
再現性	±5%F.S. ±1digit以内	±0.5%F.S. ±1digit以内
電源	単3形乾電池(R6P)×4本	操作用乾電池DC9V 6F22(マンガン乾電池) または6LR61(アルカリ乾電池) メモリリチウム電池DC3V CR-2025
連続使用可能時間	50時間以上	15時間以上
使用温度範囲	10~40°C	0~40°C
寸法	本体:140(W)×75(H)×34(D)mm 光学系:88(W)×30(H)×45(D)mm	78(W)×189(H)×58(D)mm
質量	約350g(電池内蔵時)	約400g(電池内蔵時)
付加機能	自動校正 オートパワーオフ 表示ホールド オーバーレンジ表示 バッテリー残量表示	自動校正 オートパワーオフ 表示ホールド オーバーレンジ表示 バッテリーアラーム データメモリ(MAX99個)内蔵 平均値演算 キー確認音

注) IG-331の20°測定は60°測定で測った際の光沢度が70以上の対象物でご使用ください

補用品 保護キャップ(校正用標準板付)

●光沢ア・ラ・カルト

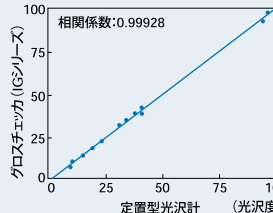
光沢度とは?

人が目でモノを見るとき、そのモノの明るさや、表面に映り込む他の物質の像を見ることがあります。これはモノの表面に当たった光が正反射した結果です。その程度を表す量を光沢度といいます。

光沢の基準は?

JIS規格では屈折率1.567であるガラス表面において60°の入射角の場合反射率10%を光沢度100(%)、20°の入射角の場合反射率5%を光沢度100(%)としています。

■セラミックタイルの光沢度測定例
(光沢度)



左図はセラミックタイルの測定例で、光沢の異なる12種類のタイルを選び、グロスチェッカIGシリーズ(60°測定)とA社光沢計(市販品)による比較測定結果です。セラミックタイルは、表面状態が比較的安定するため、中光沢域の基準板(2次標準板)として広く用いられています。

光沢度の角度は?

一般に光沢度の高いものは角度を小さく、光沢度の低いものは角度を大きくとって測定します。JISではこの角度を20°、45°、60°、75°、85°と規定しています。実際に広く使用されている測定角は測定範囲の広い60°が多く、光沢度の高いものの計測には20°が使われます。

光沢度の単位は?

JIS規格により、%もしくは数字のみでよいとされています。また記録する場合は、原則として測定角度・測定器メーカー名・型式を明記することになっています。



正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をお読み下さい。